

問6 あなたが、今の生活で不満に思っていることがあるとすれば、どれにあてはまりますか。

(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|-----------------|----|----------------|
| 1 | 時間がない | 7 | 恋人や配偶者がいない |
| 2 | お金がない(収入・家計・借金) | 8 | 子どもがいない |
| 3 | 仕事 | 9 | 自分の学業・受験・進学 |
| 4 | 家庭 | 10 | 日常に刺激がなく、退屈 |
| 5 | 健康・病気 | 11 | 不満はあるが、この中にはない |
| 6 | 友だちがいない | 12 | 不満はない |
- ⑬

問7 あなたが、初めて人を好きだと感じた(初恋)のはいつでしたか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|------------------|---|---------|
| 1 | 3歳から5歳くらいの間 | 5 | 高校のとき |
| 2 | 小学校低学年(1~3年生)のとき | 6 | 高校卒業以後 |
| 3 | 小学校高学年(4~6年生)のとき | 7 | この中にはない |
| 4 | 中学のとき | | |
- ⑭

問8 では、あなたが中学生の頃までのことを、お聞きします。

(1) あなたのご両親は、仲が良かったですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|-----------|
| 1 | 良かった | 4 | 悪かった |
| 2 | どちらかといえば良かった | 5 | どちらともいえない |
| 3 | どちらかといえば悪かった | 6 | あてはまらない |
- ⑮

(2) あなたは、普段、親と話をしていましたか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------|---|-------------|
| 1 | よく話をした | 3 | ほとんど話をしなかった |
| 2 | 時々、話をした | 4 | まったく話をしなかった |

問9 あなたは親をどのように思っていますか。母親と父親について、それぞれ最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

(1) 母親に対して

- 1 産んでくれて、育ててくれて、感謝している
- 2 自分を守ってくれる
- 3 嫌い、うっとうしい
- 4 支えなくてはいけない存在である
- 5 好き、嫌い両方の気持ちがあり複雑
- 6 この中にはない
- 7 何とも思っていない

(2) 父親に対して

- | | | | |
|---|-----------------|---|------------------|
| 1 | 育ててくれて、感謝している | 5 | 好き、嫌い両方の気持ちがあり複雑 |
| 2 | 自分を守ってくれる | 6 | この中にはない |
| 3 | 嫌い、うっとうしい | 7 | 何とも思っていない |
| 4 | 支えなくてはいけない存在である | | |

性の意識や知識についてお伺いします。

問 10 あなたは中学生の頃まで、親と性に関する事柄（人を好きになること、セックス《性交渉》、避妊、性感染症などを含めて）について、話をすることがありましたか。（○は1つ）

- | | | | |
|---|---------|---|-------------|
| 1 | よく話をした | 3 | ほとんど話をしなかった |
| 2 | 時々、話をした | 4 | まったく話をしなかった |

問 11 あなたの親は、性的なことに関して厳しかった（厳しい）ですか。（○は1つ）

- 1 厳しかった（厳しい）
- 2 どちらかといえば厳しかった（厳しい）
- 3 どちらかといえば厳しくなかった（厳しくない）
- 4 厳しくなかった（厳しくない）
- 5 どちらともいえない

問 12 あなたは、一般に、セックス（性交渉）はいつから始めてよいと思いますか。（○は1つ）

- | | | | |
|---|---------------|---|-----------------|
| 1 | 中学校を卒業してから | 4 | 結婚してから |
| 2 | 高校を卒業してから | 5 | いつから開始するかは本人の自由 |
| 3 | 経済的に親から独立してから | 6 | この中にはない |

問 13 あなたは、友人など身近な人と、性に関する事柄について話をすることがありますか。（○は1つ）

- 1 よく話をする
- 2 時々、話をする
- 3 ほとんど話をしない
- 4 まったく話をしない

問 14 あなたは、性に関することや避妊方法について、主にどこから知りましたか。（○は2つまで）

- 1 教師、学校の授業
- 2 医師、助産師、保健師などの保健医療者
- 3 親
- 4 きょうだい
- 5 親以外の大人
- 6 友だち
- 7 マスコミ（新聞、テレビ、雑誌など）
- 8 インターネット
- 9 意識せず、自然に身についた
- 10 学んだことはない

問 15 性に関する事柄について、あなたは一般的に、何歳くらいの時に知るべきだと思いますか。
a~oのそれぞれについてお答えください。(○は、それぞれ1つずつ)

	3	6	10	13	16	19	個	知
	{	{	{	{	{	歳	人	る
	5	9	12	15	18	以	に	い
	歳	歳	歳	歳	歳	上	よ	必要
							っ	は
							て	
a 男女の心と身体の違い	1	2	3	4	5	6	7	8
b 二次性徴(発毛・声変わり・乳房のふくらみ)、月経、 射精などの身体のしくみ	1	2	3	4	5	6	7	8
c 受精、妊娠、出産、誕生のしくみ	1	2	3	4	5	6	7	8
d 避妊法	1	2	3	4	5	6	7	8
e 人工妊娠中絶	1	2	3	4	5	6	7	8
f エイズとその予防	1	2	3	4	5	6	7	8
g エイズ以外の性感染症とその予防	1	2	3	4	5	6	7	8
h コンドームの使い方	1	2	3	4	5	6	7	8
i 多様な性のあり方(同性愛、性的指向、性同一性障害等)	1	2	3	4	5	6	7	8
j 性的被害(レイプや性暴力など)の対処法	1	2	3	4	5	6	7	8
k 男女間の平等や助け合い	1	2	3	4	5	6	7	8
l 結婚	1	2	3	4	5	6	7	8
m 離婚	1	2	3	4	5	6	7	8
n 人と人とのコミュニケーション(関わり方)	1	2	3	4	5	6	7	8
o 性に関する倫理や道徳	1	2	3	4	5	6	7	8

【問 16 と問 17 は、お子さんのいらっしゃる方にお聞きします。

お子さんがいらっしゃらない方は、次ページの問 18 にお進みください。】

問 16 あなたは、普段、お子さんと話をしていますか。(○は1つ)

- 1 よく話をする
- 2 時々、話をする
- 3 ほとんど話をしない
- 4 まったく話をしない

問 17 あなたは、普段、お子さんと、性に関する事柄(人を好きになること、セックス《性交渉》、避妊、
性感染症などを含めて)について、話をしていますか。(○は1つ)

- 1 よく話をする
- 2 時々、話をする
- 3 ほとんど話をしない
- 4 まったく話をしない

【全員の方がお答えください】

問 18 性感染症予防のためにコンドームは重要ですが、どうすればコンドームの利用が増えると思いますか。(○は2つまで)

- 1 値段を安くする
- 2 いろいろな場所で入手できる
- 3 パッケージを魅力あるものにする
- 4 ファッションブランドの商品として売る
- 5 使いやすい商品を開発する
- 6 サイズを増やす
- 7 香りや色を魅力あるものにする
- 8 コンドームの有効性を周知する
- 9 その他(具体的に)

問 19 あなたは正しいコンドームの使い方を知っていますか。(○は1つ)

- 1 はい
- 2 一応知っているが、自信はない
- 3 いいえ

問 20 あなたは低用量ピル(経口避妊薬)を知っていますか。(○は1つ)

- 1 よく知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 あまり知らない
- 4 まったく知らない

問 21 あなたは、「緊急避妊法」「モーニングアフターピル」「性交後避妊」のいずれかの言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)

- | | | |
|---|----------|---------------------|
| 1 | 聞いたことがある | 次ページの間 22 へお進みください。 |
| 2 | 聞いたことがない | |

【問 21 で「1」と答えた方にお聞きします。】

問 21-1 上記のいずれかの言葉を、どこで聞きましたか。(○はいくつでも)

- 1 友だち
- 2 家族
- 3 学校
- 4 医師、助産師、保健師など
- 5 マスコミ(新聞、テレビ、雑誌など)
- 6 インターネットなど
- 7 その他(具体的に)

あなた自身の性行動についてお聞きします。

【全員の方がお答えください】

問 22 あなたにとって、配偶者や恋人とのセックス（性交渉）とは、どういうものですか。

これまでに、セックス（性交渉）の経験のない方も、イメージとしてお答えください。

(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------|----|------------|
| 1 | 子どもをつくる | 7 | 義務 |
| 2 | 愛情の表現 | 8 | 相手を支配するもの |
| 3 | ふれあい | 9 | 相手に服従するもの |
| 4 | 安らぎ | 10 | その他（具体的に) |
| 5 | 性的な快楽 | 11 | 特にない |
| 6 | ストレスの解消 | | |

問 23 現在、あなたは以下のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- 1 配偶者がいる（事実婚を含む）
- 2 恋人がいる
- 3 配偶者や恋人はいない

問 24 あなたは、これまでにセックス（性交渉）をしたことがありますか。(○は1つ)

1	ある	→ 10ページの間 34 へお進みください
2	ない	

【問 25～問 33は、問 24で「1 ある」と答えた方にお聞きします。】

問 25 この1年間に、何人の人とセックス（性交渉）をしましたか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|------|----|------------------------|
| 1 | 1人 | 6 | 10～19人 |
| 2 | 2人 | 7 | 20～49人 |
| 3 | 3人 | 8 | 50～99人 |
| 4 | 4人 | 9 | 100人以上 |
| 5 | 5～9人 | 10 | この1年間は、セックス（性交渉）をしなかった |

次に、初めてのセックス（性交渉）について、お聞きします。

問 26 あなたが、最初にセックス（性交渉）をしたのは何歳の時ですか。

		歳の時
--	--	-----

問 27 初めてセックス（性交渉）をした相手は、当時、あなたとどういう関係でしたか。

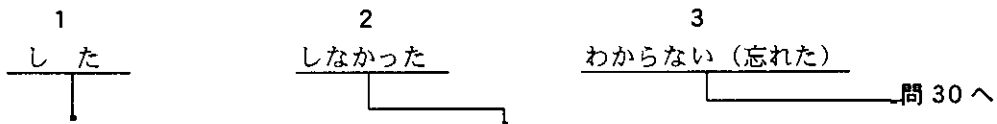
(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------|---|------------------------|
| 1 | 配偶者 | 5 | セックス（性交渉）することでお金をくれる相手 |
| 2 | 婚約者 | 6 | お金を払った相手（性風俗など） |
| 3 | 恋人 | 7 | この中にはない |
| 4 | ゆきずりの人 | | |

問 28 初めてセックス（性交渉）した相手と、出会ってからセックス（性交渉）するまで、どのくらいの間、交際していましたか。（○は1つ）

- 1 1日（出会ったその日）
- 2 1週間未満
- 3 1か月未満
- 4 3か月未満
- 5 6か月未満
- 6 1年未満
- 7 3年未満
- 8 3年以上

問 29 初めてのセックス（性交渉）の時に、避妊をしましたか。（○は1つ）



【問 29 で「1 した」と答えた方にお聞きします。】

問 29-1 そのときに使った避妊法は以下のうちどれでしたか。（○は2つまで）

- 1 男性用コンドーム
- 2 女性用コンドーム
- 3 膈外射精（性交中絶法）
- 4 洗浄法
- 5 飲む避妊薬（ピル）
- 6 オギノ式避妊法
- 7 基礎体温法
- 8 この中にはない

【問 29 で「2 しなかった」と答えた方にお聞きします。】

問 29-2 なぜ避妊しなかったのですか。

（○は1つ）

- 1 避妊についてよく知らなかった
- 2 自分の方から避妊を言い出せなかった
- 3 「避妊しよう」と言ったが相手に断られた
- 4 避妊具がなかった
- 5 子どもが欲しかった
- 6 妊娠しないと思った
- 7 面倒だった
- 8 完璧な避妊はないと思った
- 9 その他（具体的に)

【全員の方がお答えください。】

問 30 あなたは、初めてセックス（性交渉）した後どんな気持ちでしたか。（○は1つ）

- 1 相手をいとおしく思った
- 2 嬉しかった
- 3 何とも感じなかった
- 4 苦痛だった
- 5 むなしかった、後悔した
- 6 この中にはない

現在の避妊の状況について、お聞きします。

問 31 あなたは避妊することや、その方法について、相手とよく相談して決めていますか。（○は1つ）

- 1 よく相談している
- 2 あまり相談していない
- 3 まったく相談していない

問 32 あなたは、この1年間、避妊をしていますか。既に、子宮内避妊具を使用している方や不妊手術を受けている方は、「1 いつも避妊している」を選んでください。(○は1つ)

- | | | |
|---|------------------------|---------------|
| 1 | いつも避妊している | → 問 32-2 へ |
| 2 | 避妊をしたり、しなかったりしている | |
| 3 | 避妊はしない | |
| 4 | この1年間は、セックス（性交渉）をしていない | → 次ページの問 34 へ |

【問 32 で「2」または「3」と答えた方にお聞きします。】

問 32-1 あなたが、避妊をしていないことがあるのはなぜですか。(○は2つまで)

- | | | | |
|---|---------------------|---|------------|
| 1 | 避妊についてよく知らない | 6 | 妊娠しないと思う |
| 2 | 自分の方から避妊を言い出せない | 7 | 面倒だ |
| 3 | 「避妊しよう」と言ったが相手に断られる | 8 | 完璧な避妊はないから |
| 4 | 避妊具がない | 9 | その他（具体的に) |
| 5 | 子どもが欲しい | | |

【問 32 で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。問 32 で「3」と答えた、避妊はしない方は問 33 へお進みください。】

問 32-2 あなたの、現在の主な避妊方法はどれですか。(○は2つまで)

- | | | | |
|---|----------|----|-----------------|
| 1 | 男性用コンドーム | 3 | オギノ式避妊法 |
| 2 | 女性用コンドーム | 4 | 基礎体温法 |
| | | 5 | 膣外射精（性交中絶法） |
| | | 6 | 洗浄法 |
| | | 7 | 殺精子剤（錠剤） |
| | | 8 | 子宮内避妊具（IUD、リング） |
| | | 9 | 飲む避妊薬（ピル） |
| | | 10 | 不妊手術（男性） |
| | | 11 | 不妊手術（女性） |

【問 32-2 で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。】

付問 1 コンドームを使っている理由は何ですか。(○は2つまで)

- | | | | |
|---|-------------------|---|------------------|
| 1 | 性感染症予防のため | 5 | 値段が安い |
| 2 | 確実な避妊方法だと思う | 6 | どこでも手に入りやすい |
| 3 | 相手が使っている | 7 | セックスをした場所に置いてあった |
| 4 | コンドーム以外の避妊方法を知らない | 8 | この中にはない |

【性感染症予防のためにもコンドームは重要ですが、コンドームを使っていない方にお聞きします。】

問 33 コンドームを使わない理由は何ですか。(○は2つまで)

- | | | | |
|---|--------------|----|-----------------------------|
| 1 | 値段が高い | 7 | 妊娠を希望している、妊娠しても良いと思っている |
| 2 | 買うのが恥ずかしい | 8 | 性感染症を心配していない |
| 3 | 面倒だ | 9 | 他の避妊方法をしている |
| 4 | 持っていなかった | 10 | 失敗することがあると聞いたので、使っても無駄だと思った |
| 5 | 使わないほうが気持ちいい | 11 | この中にはない |
| 6 | 相手がいやがる | | |

望まない妊娠の防止についてお聞きします。

【全員の方がお答えください。】

問 34 低用量ピル（経口避妊薬）は、ホルモン含有量を抑えた、女性が飲む錠剤の避妊薬ですが、あなた自身は低用量ピルを使いたい、または相手に使ってほしいと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1 すでに使っている | 3 将来は使いたくない（使ってほしい）
が、今の状況では使えない |
| 2 現在は使っていないが、ぜひ使いたい
（使ってほしい） | 4 使いたくない（使ってほしくない） |

【問 34 で「1」または「2」と答えた方に、お聞きします。】

問 34-1 低用量ピルを「使っている」または「ぜひ使いたい」と思う主な理由は何ですか。（○は2つまで）

- 1 避妊効果が高い
- 2 手軽に使える
- 3 低用量だから副作用が少ない
- 4 女性自身の意思で使うことが出来る
- 5 セックス（性交渉）の際に避妊を意識しないですむ
- 6 人工妊娠中絶をしないですむ
- 7 多くの国で使われている実績がある
- 8 月経痛の緩和や貧血の予防などの副効用がある
- 9 この中にはない

【問 34 で「3」または「4」と答えた方に、お聞きします。】

問 34-2 低用量ピルを「使えない」または「使いたくない」はなぜですか。（○は2つまで）

- 1 副作用が心配
- 2 情報が入手できない
- 3 相談する場所がない
- 4 毎日飲まなければならないのは面倒
- 5 女性だけに負担がかかる
- 6 すでに使っている避妊法で十分
- 7 性感染症やエイズを予防できない
- 8 費用がかかりすぎる
- 9 配偶者またはパートナーが反対している
- 10 親が反対している
- 11 もらう前に医師の検査・診察を受けるのが面倒
- 12 年齢が高いので使えない
- 13 病気があるため使えない
- 14 この中にはない

【全員の方がお答えください】

問 35 あなたは、人工妊娠中絶についてどう思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。（○は1つ）

- 1 認める
- 2 一定の条件を満たす場合は、やむをえない
- 3 認めない
- 4 どちらともいえない
- 5 この中にはない

問 36 あなた（あなたの相手）が中絶しようかどうかを考えている時に、誰かが責任をもって赤ちゃんを育ててくれるとしたら、あなたは産みますか（産むことを支持しますか）。

- 1 産む
- 2 産まない
- 3 わからない

問 37 あなた（あるいはあなたの相手）は、これまでに、人工妊娠中絶の手術を受けたことがありますか。
 (○は1つ)

- | | | | | |
|--|---|--------|--------------------|--------------------|
| | 1 | 1回 | 6 一度もない
7 わからない | 次ページの間 38へお進みください。 |
| | 2 | 2回 | | |
| | 3 | 3回 | | |
| | 4 | 4回 | | |
| | 5 | 5回（以上） | | |

【問 37で「1」～「5」と答えた方にお聞きします。】

問 37-1 あなた（あるいは、あなたの相手）が、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由は、何ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|----------------|---|--------------------|
| 1 | 結婚していないので、産めない | 4 | 自分の身体が妊娠・出産に耐えられない |
| 2 | 経済的な余裕がない | 5 | この中にはない |
| 3 | これ以上、子どもは欲しくない | | |

問 37-2 あなた（あるいはあなたの相手）が、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したとき、あなたはどのような気持ちでしたか。(○は2つまで)

- | | | | |
|---|----------------------|----|----------------|
| 1 | 自分の人生において必要な選択である | 6 | 胎児に対して申し訳ない気持ち |
| 2 | 多くの女性が中絶しているから、かまわない | 7 | 相手に対して申し訳ない気持ち |
| 3 | これで解放されると思った | 8 | 相手に対する怒り |
| 4 | 手術への不安 | 9 | この中にはない |
| 5 | 自分を責める気持ち | 10 | 覚えていない |

【問 37-3～問 37-5は、女性の方だけにお聞きします。男性の方は、次ページの間 38にお進みください。】

問 37-3 最初の人工妊娠中絶手術を受けた医療施設で、次のようなことがありましたか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | 性行動を非難された |
| 2 | 診察室や診察の仕方に、プライバシー等に対する配慮がなかった |
| 3 | 医療機関で人間的な温かみのない対応を受けた |
| 4 | この中にはない |

問 37-4 最初の人工妊娠中絶手術を受けた後、以下のような状態を経験しましたか。(○は2つまで)

- | | | | |
|---|----------|---|----------------------|
| 1 | ほっとした | 5 | セックス（性交渉）をする気になれなかった |
| 2 | 無気力になった | 6 | 相手（配偶者）に対して嫌悪感を持った |
| 3 | 眠れなくなった | 7 | 特に何も変化はなかった |
| 4 | 食欲がなくなった | 8 | この中にはない |

問 37-5 人工妊娠中絶後の精神的な不安や悩みは主に誰に相談しましたか。(○は2つまで)

- | | | | |
|---|----------|----|-----------------------|
| 1 | 相手（配偶者） | 10 | 教師、養護教諭 |
| 2 | 親 | 11 | カウンセラーなどの専門家 |
| 3 | 祖父母 | 12 | 電話相談員 |
| 4 | きょうだい | 13 | 宗教関係者 |
| 5 | それ以外の親族 | 14 | 相談したかったが、相談する相手がいなかった |
| 6 | 友だち、知りあい | 15 | 相談しようとは思わなかった |
| 7 | 助産師 | 16 | この中にはない |
| 8 | 保健師・看護師 | 17 | 不安や悩みはなかった |
| 9 | 医師 | | |

今後のサービスや取り組みについてお聞きします。

【全員の方にお聞きします。】

問 38 性に関する事柄（セックス《性交渉》、避妊、性感染症などを含めて）について、こういったサービスなどがあればいいと思いますか。必要だと思われるものをいくつでも選んでください。

(○はいくつでも)

- 1 インターネット（ホームページ）による情報提供
- 2 わかりやすいパンフレットによる情報提供
- 3 親子で話し合うための教材をつくる
- 4 いろいろな世代も含めた男女のつきあい方を学ぶ教室
- 5 コンドームの無料配布
- 6 ビルをもっと入手しやすくする
- 7 24時間対応ができる電話相談
- 8 自助グループ
- 9 この中にはない

最後に、この調査を統計的に処理するために、あなたご自身のことについていくつかお聞きします。

F1 あなたの性別（○は1つ）

- | | | | |
|---|----|---|----|
| 1 | 男性 | 2 | 女性 |
|---|----|---|----|

F2 あなたの年齢は、満でおいくつですか。

--	--	--

 歳

F3 あなたには、お子さんがいらっしゃいますか。

- | | | | | |
|---|-------------------|---|-----|------------|
| 1 | いる（ ）人 | 2 | いない | F4へお進みください |
|---|-------------------|---|-----|------------|

【F3で「1」と答えた方にお聞きします。】

F3-1 一番上のお子さんの年齢はおいくつですか。

--	--	--

 歳

F4 あなたの主な職業は、どれにあてはまりますか。（○は1つ）

- | | | | |
|---|-------------------------|---|--------|
| 1 | 勤め人（常勤） | 4 | 学生 |
| 2 | 勤め人（非常勤・パートタイム・アルバイトなど） | 5 | 主婦（主夫） |
| 3 | 自営業（事業の経営者・家業の手伝い・内職など） | 6 | 無職 |

世代間の断絶と性教育の課題

瀬地山 角（東京大学教養学部）

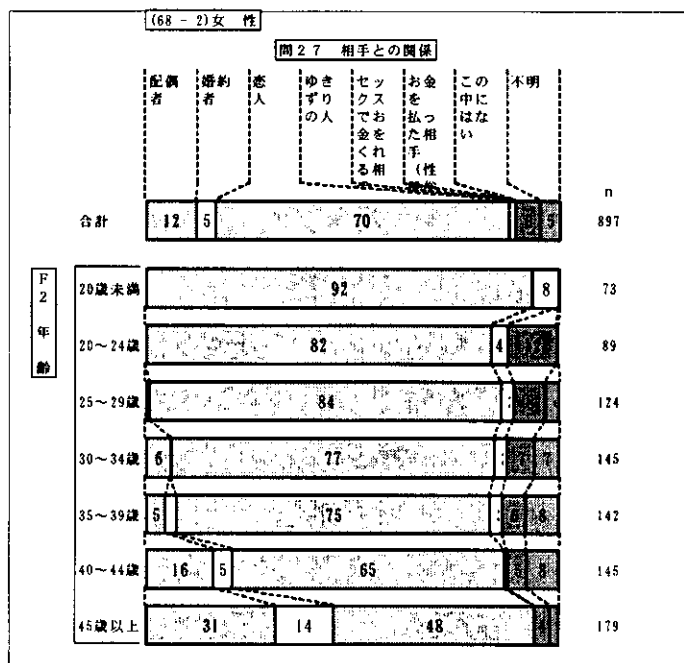
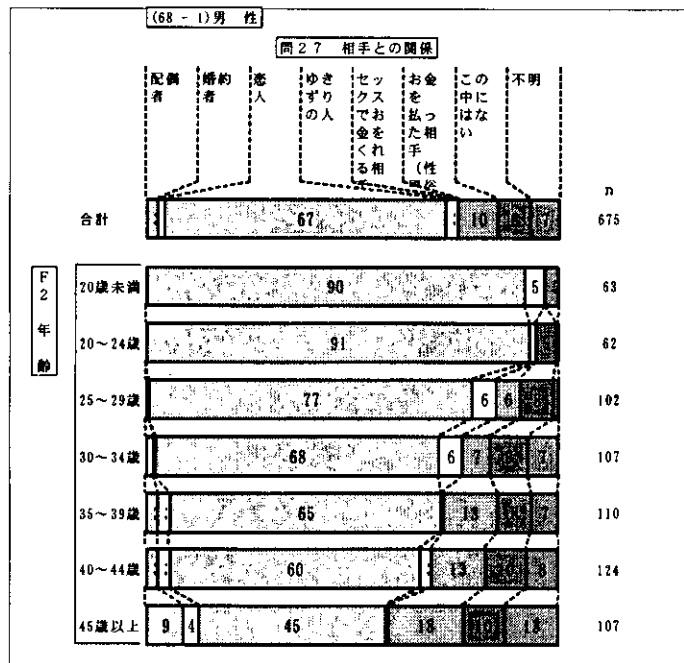
若年層の性行動に大人が眉をひそめる、といったことが日常化している。それ自体は性規範が変化する限り、昔からあった現象で、少なくとも戦後日本社会では、つねに存在してきたといってよい。そのうえで現在の世代差はどこに存在し、どこに亀裂があり、何が問題なのか、そのあたりをこの調査をもとに簡単に分析してみよう。

1. 性行動にまつわる世代間の隔絶

Q27で初体験の相手を聞いているが、この答えについての世代間の相違が大変興味深い。初体験の相手を「恋人」と答えた人の比率は男女とも20代前半までは9割近く。20代後半では男性77%、女性84%。そして30代では男性で3分の2、女性で4分の3となるのだが、40代前半では男性60%、女性65%と減少し、40代後半では男性45%、女性48%と急減する。もっともこれはセックスの経験者にのみ聞いているので、20代前半までは未経験者も多く（Q24）、その点は割り引かなければいけない。ただ20代後半以降では男女とも経験率がほぼ8割以上に達しているので、比較は可能であると考えられる。

「恋人」の比率はなだらかな減少というよりも30代後半と40代前半、もしくは40代前半と4

0代後半の間に大きな溝があるという形の分布をしている。調査時点の40歳頃を境にして、日本の性行動に大きな変化があった。つまり（特に女性の場合）セックスが結婚の後に来るという行動様式から、セッ



クスを経験してから結婚するという行動へと変わったことがわかる。初体験の相手を「配偶者」と答えた比率が、30代の女性で5～6%なの、40代前半で16%、同後半で31%と跳ね上がることが、これを象徴している。男性の場合は初交の相手について、配偶者の比率の変化とともに、風俗と答える比率が若年層で大きく減っており、“筆おろし”といった習慣が、少なくなってきたことを示している。

出会ってからセックスまでの期間を聞いたQ28に関して、同様の変化がみられる。男の影響のない女性のデータをみれば、出会ってから1ヶ月未満という回答が、20歳未満で56%、40代前半で9%とこの間完全に年齢に応じて減少する。つまり出会ってから短期間でのセックスが若年層できわめて一般的になっていることがわかる。

こうした世代間の違いについてはNHKの「日本人の性行動・性意識」に関する調査(1999年実施)でもほぼ対応する結果が得られている¹⁾。同調査では女性の婚前交渉に対する意識も聞いているのだが、これがやはり40代を境にして肯定と否定が逆転するという分布を示しており、我々の調査でみられた行動の変化が、意識の変化とも対応している可能性が読みとれるのだ。

要するに今の日本社会には、1960年代前半生まれあたりを境にして、性行動や性意識について、大きな溝が存在する、ということが明らかになった。このことの意義は決して小さくない。すな

わち性行動や性意識の問題はフェミニズムなどの立場からしばしば男女の差が問題とされるが、こうした統計から見る限り男女以上に世代の差の方が著しく大きく、しかもそれは世代に関して直線的に分布するというよりは、どちらかというところある時期を境に激変をするということを示唆しているのである。

調査時点の40歳は1962年生まれ

(68-1) 男性

問28 出会ってからの期間

		1日 (出 会った その 日)	1週 間未 満	1か 月未 満	3か 月未 満	6か 月未 満	1年 未満	3年 未満	3年 以上	不明	n
合計		12	4	19	19	14	11	5	3	1	675
F 2 年 齢	20歳未満	15		25		25		15	5	3	63
	20～24歳	7	12		28		23	12	9	5	62
	25～29歳	11	8		29		27	10	6	4	102
	30～34歳	11	5		22		19	9	11	14	107
	35～39歳	11		15	18		23	12	4	11	110
	40～44歳	13		17	14		17	13	3	13	124
	45歳以上	17		10	14		10	13	5	16	107

(68-2) 女性

問28 出会ってからの期間

		1日 (出 会った その 日)	1週 間未 満	1か 月未 満	3か 月未 満	6か 月未 満	1年 未満	3年 未満	3年 以上	不明	n
合計		1	14	24	16	19	19	10	10	1	897
F 2 年 齢	20歳未満	4	8		44		24		16		73
	20～24歳	6	10		24		22	12	10	3	89
	25～29歳	5	5		22		27	14	11	9	124
	30～34歳	4	16		30		15	14	5	12	145
	35～39歳	9		23	22		20	20	2	10	142
	40～44歳	6		21	12		24	15	13		145
	45歳以上	9		20	23		19	19	5	10	179

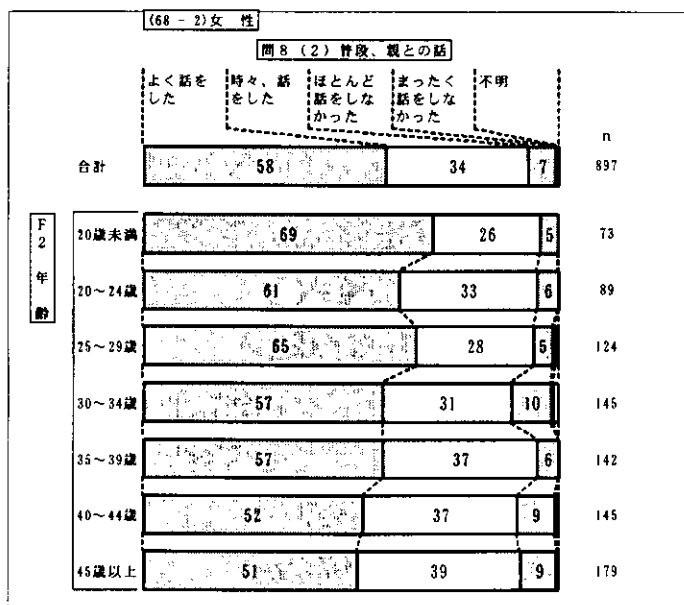
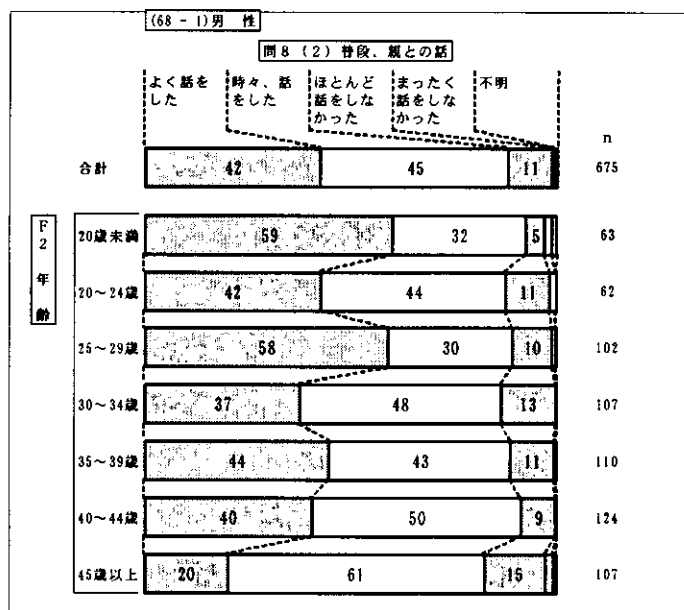
で、彼ら彼女らが20代を過ごすのは1980年代である。とすると1980年代に大きな性行動の変化があったということになるのであるが、これについては本調査の外部の現象でもあり、説得的な検証が難しい。オールナイトフジの女子大生ブームやその後の女子高生ブーム、サザンオールスターズに象徴されるナンパカルチャーなど、関連する現象を列挙することは不可能ではない。しかし学園紛争期の「神田川」の世界のような同棲の可視化に比べて、インパクトがあるとは思えない。同じく大学紛争を経験した欧米の場合は、まさにこの時期に性行動の変化がみられ、これが同棲やさまざまな性的少数者の認知へとつながっていくのであるが、日本の場合は、統計的に見る限り団塊の世代の同棲ブームというのは、実は言説が先行したのみで実態としてはそれほど進展しておらず、むしろそれから10年くらい経た時期に実際の行動の変化が訪れたということになるのである。

2. 性行動の世代的断絶と親子・学校の機能

こうした性行動の世代的断絶は親が45歳以上で、子どもが思春期という層と重なるため、当然親子間の性にまつわる対話にも影響を及ぼしている。Q8-2では回答者のほぼ9割が男女とも親と「よく話をした」「時々、話をした」と答えているのに対して、性に関する話となるとQ10にみるように、「ほとんど話をしなかった」「まったく話をしな

かった」が9割に達している。ただ20歳未満の女性のみ「よく話をした」「時々、話をした」があわせて23%に達しており、比較的コミュニケーションが取れている。全体に男女とも20代以下の若い層ほど親との性に関する対話の機会は増えていることは確かである。

ただ若年層で増えているとはいえ、その比率はほとんど1割台で性教育の機能を家庭が果たしているとは考えがたい。そのことを考えれば、性教育において学校が果た



している役割はきわめて重要である。Q14では性役割避妊の情報を誰（どこ）から得たかを複数回答で問うているが、「教師、学校の授業」と答える比率は40代後半で男性8%女性26%なのに対して、年齢が若くなるほど上昇し、20歳未満では男性64%、女性70%と圧倒的に高くなる。代わってマスコミの比率は30代以降では40%以上と高いのに対して、20歳未満では3割を切る。近年の学校の性教育が性に関する知識についてかなり重要な地位を占めていることがわかる。

性教育には妊娠のメカニズムなどの生理的側面、性病予防や避妊方法などの性行為の側面、男女の心理などの心理的側面があるといわれる。このうち生理的側面については、保健体育などで広く教育されている。ただ日本性教育教会の第5回青少年の性行動全国調査（1999年実施）によれば、生理的側面にとどまらず、セックスや避妊などの性行為の側面に踏み込んで教えた方が、その性教育を「役に立った」と評価する学生が多いことも明らかになっている。さらに心理的側面を含めて教育すると性に関するイメージも肯定的なものに変化しやすいと指摘されている(2)。性規範が多様化する中で家庭が性教育の機能を果たしていない現状では、学校における性教育の促進が、性に関する正確な情報の伝達に大きな意味を持っていることがわかる。

20歳以上の若年層にも目を転じてみよう。この調査は若年層について、学校に通う以外の層からもサンプルが集められている

点が、前出の「青少年の性行動全国調査」と異なる点である。セックスの経験率をみると、本調査が20～24歳で男性69%、女性57%なのに対して、「青少年の性行動全国調査」では大学生が男性63%、女性51%となる。数値の上では約6%ずつ本調査の方が高くでているが、「大学生」と比べれば本調査の方が平均年齢が1～2歳上になることを考えると、本調査の方が若干控えめな数字がでていると言えなくもない。一般に大学という空間は、職場より

		(68-1) 男性					
		問10 親と性に関する話					
		よく話をした	時々、話をした	ほとんど話をしなかった	まったく話をしなかった	不明	
	合計	5	35		57		n 675
F2 年齢	20歳未満	6	37		52		63
	20～24歳	6	8	32	54		62
	25～29歳	5	9	37	49		102
	30～34歳	8		39	53		107
	35～39歳			39	59		110
	40～44歳	4		34	60		124
	45歳以上			26	69		107

		(68-2) 女性					
		問10 親と性に関する話					
		よく話をした	時々、話をした	ほとんど話をしなかった	まったく話をしなかった	不明	
	合計	10	40		47		n 897
F2 年齢	20歳未満		21	38	37		73
	20～24歳	12		43	42		89
	25～29歳	10		37	49		124
	30～34歳	13		34	50		145
	35～39歳	7		42	50		142
	40～44歳	10		42	45		145
	45歳以上			45	50		179

も性行動の自由化を促しやすい傾向にあり、その分だけ本調査の方が、控えめな数値となっている可能性がある。いずれにせよ、高校から大学・職場へと移る時期に、性行動について劇的な変化がみられることは確かであり、避妊方法や、低用量ピル、モーニングアフターピルなどについて、場合によっては大学などでもなんらかの対応が必要なのではないだろうか。正しいコンドームの使い方について、「一応知っているが自信はない」、「知らない」との答えが、あわせて20代の女性で6割近くにのぼるとするのは、やはり危険なことといわ

ざるを得ない。男女共同参画の取り組みが全国の国立大学で進められており、性的自己決定権に基づいた望まない妊娠の防止は、大学の中でも一つの論点となりうるであろう。

参考資料

- 1) NHK「日本人の性」プロジェクト編 『NHK日本人の性行動・性意識』NHK出版、2002年
- 2) 日本性教育教会編 『「若者の性」白書』小学館、2001年

男女の生活と意識に関する調査

～性に関する会話についての分析～

松浦賢長（京都教育大学）

1. はじめに

性教育が行われる場として、一般的にイメージされるのはまずは学校である。現在は、小学校3・4年生の保健の教科書（平成14年度～）に、内・外性器の解剖図とともに性に関する記述がある。教科書をもとに論ずるならば、そこが学校における性教育の公式出発点となっている。その一方で、学校での性教育の不十分さを指摘する声は伝統的に根強いものがある。それらの中には、学校におけるよりも、家庭における性教育を推進して行くべきだという意見もある。

家庭内での性教育を考えた場合、一義的にみれば、教育する立場にあるものは「親」

であり、教育される立場にあるものは

「子ども」ということになり、その親子間で性に関する会話がなされることが前提となる。一般的には、親子間が伝統的な上下関係に

あるよりも、今日的な水平関係にあるような場合（たとえば友達親子と言われる関係などの）には、親子間でさまざまな会話がなされやすく、性に関する会話もなされやすいのではないかという仮説はたてられよう。しかしながら、性は奥深きものである

がゆえか、先行研究は、その仮説を棄却する傾向にあるようだ。すなわち、親と気軽に話ができることと性に関して親子で話すこととは関連しないということ¹⁾、普段 assertive でよく話をする人が性に関して assertive とは限らないということ²⁾ などが明らかにされている。言葉を主体とした教育が、性に関する会話をする（特別な）関係でするように導くための教育として、果たして有効なのかどうかという疑問がここにわき起こる。

今回、男女の生活と意識に関する調査の解析にあたって、わが国の性に関する会話の現状を把握することができたので以下に報告する。

F1 性別：男性

	全体	問10 親と性に関する話			
		よく話をした	時々、話をした	ほとんど話をしなかった	まったく話をしなかった
合計	675	1.8	5.2	35.0	57.0
F2 年齢					
20歳未満	63	3.2	6.3	36.5	52.4
20～24歳	62	6.5	8.1	32.3	53.2
25～29歳	102	4.9	8.8	37.3	49.0
30～34歳	107	0.0	8.4	39.3	52.3
35～39歳	110	0.0	0.9	39.1	59.1
40～44歳	124	0.0	4.0	33.9	59.7
45歳以上	107	0.9	1.9	26.2	69.2

2. 結果

2-1. 親と性に関する会話をしたか（問10）

あなたは中学生の頃まで、親と性に関する事柄（人を好きになること、セックス（性

交渉)、避妊、性感染症などを含めて)について、話をすることがありましたか、という質問である。以下

F1 性別:女性

に、男女別および年齢群別の回答割合の表を載せた。

大多数の対象者は、親とは性に関する会話をほとんどしなかった、もしくは、まったく話をしなかつ

た、と回答していた。男性では年齢層があがるにつれ、まったく話をしなかったと回答するものの割合が高くなる傾向がみられたのに対して、女性では20歳代後半以降は、その割合は約50%と一定していることが読みとれた。また、女性の20歳未満群においては、時々話をしたと回答したものの割合が高く、20%であった。よく話をしたと回答したものの割合は、0~数パーセントの低レベルにあった。

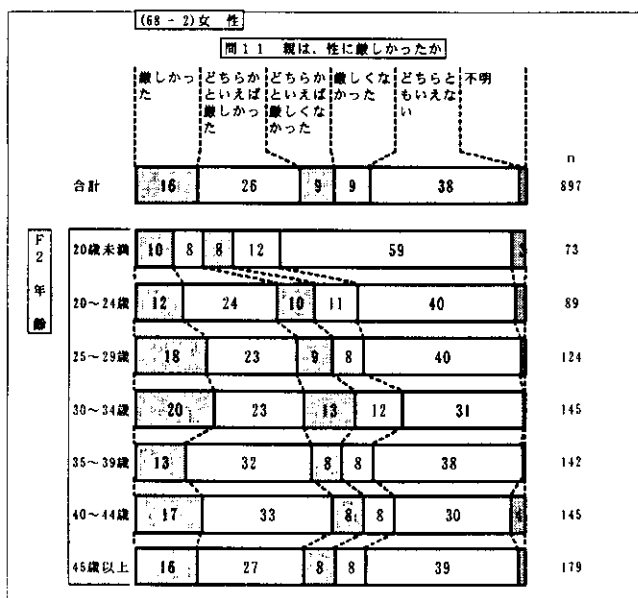
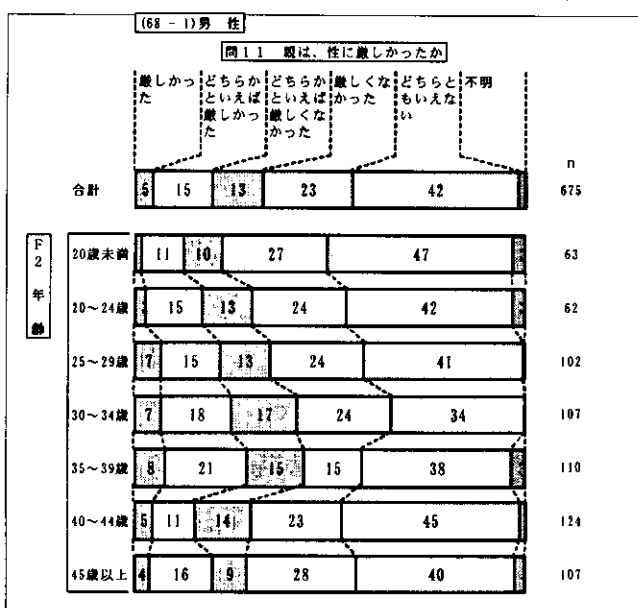
2-2. 親は性に関して厳しかったか (問11)

あなたの親は性的なことに関して厳しかった(厳しい)ですか、という質問である。以下に、男女別および年齢群別の回答割合の図を載せた。

厳しかったと回答したもの、および、どちらかといえば厳しかったと回答したものに着目してみる。男性においては、厳しかったと回答したものの割合は数パーセント台にとどまっているのに対し、女性においては、その約2~3倍の割合で厳しかったとの回答がみら

れていた。どの年代においても、女性には厳しく、男性には甘くという傾向がみられ

		全体	問10 親と性に関する話			
F2 年齢			よく話をした	時々、話をした	ほとんど話をしなかった	まったく話をしなかった
合計		897	1.0	9.7	40.5	47.0
20歳未満		73	2.7	20.5	38.4	37.0
20~24歳		89	1.1	12.4	42.7	41.6
25~29歳		124	1.6	9.7	37.1	49.2
30~34歳		145	2.1	13.1	34.5	49.0
35~39歳		142	0.7	7.0	41.5	50.7
40~44歳		145	0.0	9.7	42.1	45.5
45歳以上		179	0.0	3.4	45.3	49.2



た。ただし、女性の20歳未満群においては、厳しかったと答える割合は、約10%と低く、どちらかといえば厳しかったとあわせても、わずかに18.4%であった。女性の年齢群にて、厳しかったと回答した割合がもっとも高かったのは、30歳前半群であった。

厳しくなかったと回答したものの、および、どちらかといえば厳しくなかったと回答したものに注目してみる。男性であるが、どの年齢群においても30%以上のものが、(どちらかといえば)厳しくなかったと回答していた。一方、女性であるが、これらをあわせた数値をみると、30歳代前半のみにピークがあり、25%を超えていた。さきほど、厳しかったと回答したものがもっとも少なかった20歳未満群については、その割合は約20%であり、他の年齢群と大きな乖離がみられたわけではなかった。すなわち、20歳未満の女性についていえば、厳しかった親も少なく、厳しくなかった親も少ないということになる。

では、どちらともいえない、との回答をしたものの割合に着目してみる。どちらともいえないと回答したものは、男性では約40%、女性でも約38%と大きな差がないよう

にみえる。しかし、年齢群別に値をおっていくと、20歳未満群の女性において、どちらともいえないと回答したものが60%に達するレベルにあることがわかった。

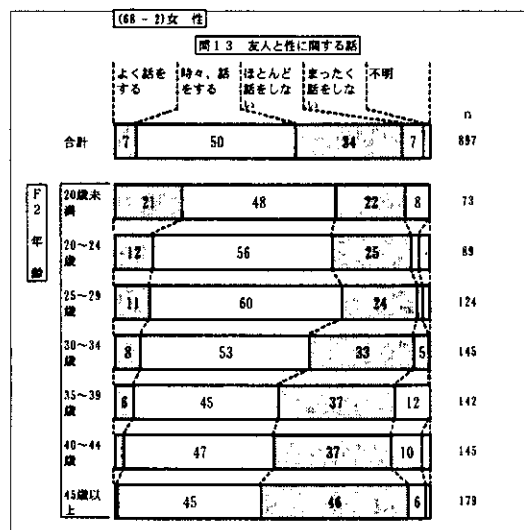
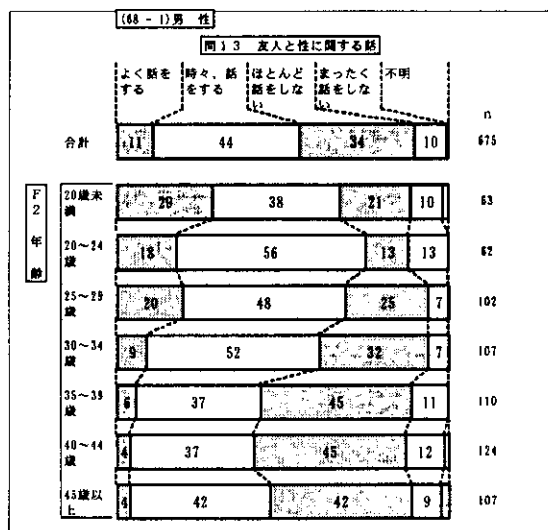
2-3. 友人などと性に関する会話をしたか(問13)

あなたは、友人など身近な人と、性に関する事柄について話をすることがありますか、という質問である。以下に、男女別および年齢群別の回答割合の図を載せた。

よく話をするという回答したものに注目してみる。まず男性であるが、20歳代と30歳代のあいだに断層がみられる。30歳未満の対象者では、友人などと性に関する会話をするとというものが大幅に増えているのがわかる。この傾向は、女性では20歳未満に顕著である。

一方、時々話をするという回答したものに注目してみると、女性ではその割合は、年齢群別にそれほど大きな差異はみられないことがわかる。男性では、35歳以上でその割合が低い傾向がみられた。

次に、ほとんど話をしないもの、まったく話をしないものについて注目してみる。



男性では、まったく話をしないものは約10%前後、年齢群にかかわらず存在している。男女ともに、ほとんど話をしないというものは、年齢が下がるにつれ、減少していた。

2-4. セックスをいつから始めてよいか (問12)

あなたは、一般に、セックス(性交渉)はいつから始めてよいと思いますか、という質問である。以下に、男女別および年齢群別の回答割合の図を載せた。

中学校を卒業してから、と回答したものは、男性の24歳以下に相対的に多くみられた。高校を卒業してから、という回答は、男性の30歳以上によくみられていた。経済的に独立してから、との回答は男女ともに、年齢が高くなるほどその割合が増していたが、とくに女性の35歳以上に多い傾向があった。結婚してから、という意見は、男性ではどの年齢群においても10%に満たなかったが、女性においては、45歳以上群で20%となっていたことが特徴的であった。

中学から、高校から、独立してから、あるいは、結婚してから、という上でみてき

た意見は、いつから開始するかは本人の自由という回答に比較すると、それほど多い回答ではなかったことがわかる。本人の自由と答えたものに着目してみると、男性では20歳代以下に多くみられる一方、女性では、年齢が下がるにつれて激増しているのがわかる。とくに20歳未満については、3人に2人という高い割合で、本人の自由、が選択されていた。

3. 考察

3-1. 親との性に関する会話の状況

戦後、家族関係とともに親子関係は変化し、かつ多様化してきている。友達親子なる言葉も一般に流通するようになり、親子関係が上下関係としてあらわされる時代から、親子関係が水平関係としてあらわされる時代に移行してきたといえる。各種の調査では、父親のイメージに「厳」という文字をあてはめる子どもは、今日では少数派であるということが示されていた。今日の親子関係は、親子における会話を共有する方向にかわってきたといえる。それにもかかわらず、今回の調査結果が示したことは、

(68-1) 男性

図12 セックス開始年齢

	中学校を卒業してから	高校を卒業してから	経済的に独立してから	結婚してから	いつから開始するかは本人の自由	この中にはない	不明	n
合計	7	19	19	6	40			675
年齢	20歳未満	17	5	9	10	53		63
	20~24歳	15	11	13	5	46	10	62
	25~29歳	8	16	7	7	58		102
	30~34歳	4	24	20		43		107
	35~39歳	4	19	24	4	42		110
	40~44歳	5	25	23	6	31	7	124
	45歳以上	21		32	9	25	8	107

(68-2) 女性

図12 セックス開始年齢

	中学校を卒業してから	高校を卒業してから	経済的に独立してから	結婚してから	いつから開始するかは本人の自由	この中にはない	不明	n
合計	5	16	24	11	34			837
年齢	20歳未満	8	8	4	8	66		73
	20~24歳	7	10	12	9	51		89
	25~29歳	8	19	15	7	43		124
	30~34歳	8	19	24	5	32	10	145
	35~39歳	4	21	29	10	27		142
	40~44歳	16		33	10	27	10	145
	45歳以上	15		36	20	19	8	178

性に関する会話は今日でも、よくはなされていないということであった。先行研究が示すとおり、性に関する会話は、親子関係においては「特別」なものであると考えられる。言葉を変えれば、親子における性に関する会話の少なさは、(仮説として)普遍的なものであるといえる。今後、われわれは、親子の間で性に関する会話がなされないことのメリットを科学的に考察していく必要があるだろう。

3-2. 性に関する親の厳しさの状況

いままで、性に対して厳しい・甘いという事象は、おもに道徳的・規範的な観点から、あるいは、それに対抗するかたちでの性解放の観点から論じられることが多かった。たとえば、近ごろの若年層は伝統的な性規範から脱しつつある、というようにである。

すでに人の親であるからには、セックス(性交渉)には無縁ではない。自分の子どもに対して、性に関して厳しくする、あるいは、甘くするというのは、社会学的にみれば虚構であると同時に、生物学的にはひとつの戦略でもある。また、男の子と女の子がいる場合、どちらにより厳しく、あるいは、どちらにより甘くするかについても、生物学的にはひとつの戦略と考えられる。今後は生物学的な新たな観点から研究を構築していく必要があると思われる。

20歳未満群においては、親が厳しかったと回答したものが少なく、また同時に、親は厳しくなかったと回答したのも少なかった(問11)。とくに20歳未満の女性についてみると、どちらともいえないとの回答が60%を超える高率で突出していた。これ

は、親がその子(女子)に対する(性に関する)教育態度を明確にしていなかったということを示唆している。あるいは、親は明確な態度でのぞんだがそれが有効でなかったかのどちらかであろう。前者である可能性は高い。それは、セックスをいつから始めてよいかという質問(問12)への回答にあらわれている。20歳未満の女性においては、本人の自由であると回答したものが、70%弱というかなりの高率でみられている。もちろんこの回答(問12)だけを見る限り、伝統的な性規範から脱したからであるという意味づけることは可能である。しかしながら、この2問(問11と問12)への回答をあわせて考察すると、親が性に関して明確な態度を示し得なかったがゆえに、その子どもも性に関して明確な態度を示し得ないと考えることもできる。このような観点からすると、なぜ20歳未満の娘を持つ親たちは、子どもに性に関する明確な態度を示し得なかったのかという視点の研究が必要になると思われる。また、この傾向が、別稿でとりあげた異性に関心のない男女(とくに女性)の存在とどのようにかわるのか、そのバックグラウンドとして考察した「repercussion-free」という傾向とどのようにかわるのか、これらについてさらに研究をすすめる必要があると思われる。

3-3. 友人などとのあいだにおける性に関する会話

親子のあいだにおいては、性に関する会話は、年代がかわれどもそれほど大きな変化はみられないようであった。しかしながら、友人などの身近なものとのあいだにおいては、年齢が下がるほど、性に関する会